

## はじめに

本書の前身である『大学・大学院留学生のための やさしい論理的思考トレーニング』が出版された2009年当時は、日本の高等教育機関（大学など）において日本語を学ぶ留学生が増え始めた時期でした。留学生を教える中で、彼らの日本語力が伸びるか伸びないかの差は、「考える力」にあることに気づきました。考える習慣がある留学生は読みの力も着実に伸びるし、作文においても独創的な文を書く力がつきますが、そうでない留学生は何度読んでも何を言いたい文なのかわからないと言ったり、作文においては剽窃<sup>ひうせつ</sup>がみられたり、といった感じでした。

そこで、考えることを習慣化し、それを力として身につければ留学生の日本語力が伸びるのではないかと考え、そのための教科書として作成したのが前掲書でした。

あれから9年の月日が経ちました。留学生の数は昔より増えています。ビジネスの場で活躍する外国人も増え、技能実習生の数も増えました。いずれの現場からも、「考える力」が日本語学習者の日本語力やコミュニケーション力に関わっているのではないかという声を聞きます。そういった現場での解決につなげていただくために、教育の場・ビジネスの場にいる日本語学習者が「考える力」を身につける練習ができるよう、改訂を行ったのが本書です。

本書の特長は大きく二つあります。

一つ目の特長は、作文や口頭発表の力そのものを養成するのではなく、それを身につけるために必要な基礎的な部分である、論理的思考力を養成することです。

二つ目の特長は、トレーニング方式を取っていることです。本書では多くの練習問題を盛り込み、問題を繰り返し解くことで、「このように理由を述べればいいんだ」ということに学習者自身が気づけるようになっていきます。

主として日本語能力試験N2合格程度のレベルの日本語学習者が使うことを想定していますが、それ以上のレベルの方でも十分に使える内容になっています。

また、練習問題には解答・解答例がついていますので、1対多数の教室環境だけでなく、独習でもプライベートレッスンでも使えるようになっていきます。

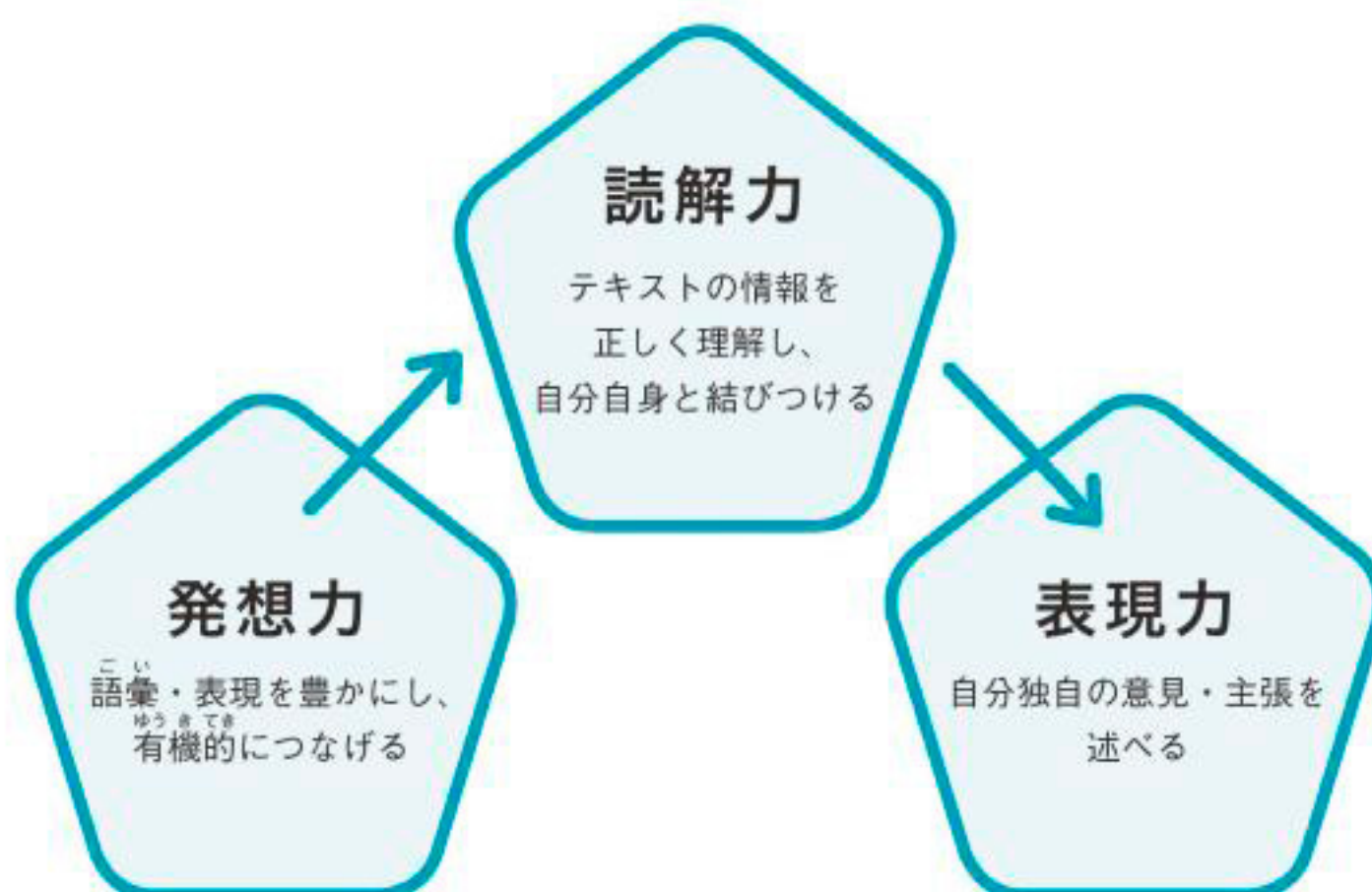
最後になりましたが、今回本書が出版されることになったのは、株式会社アルク出版編集部の皆様のご理解とご協力によるものであります。中でも編集・校正の段階でさまざまなご助力をいただきました除村美幸季さん、そして、前身である『大学・大学院留学生のための やさしい論理的思考トレーニング』の出版への道を作っていただいた新城宏治さんに心から感謝の意を表したいと思います。また本書の趣旨を理解くださり、転載および書き換えに応じてくださった著者の皆様に厚く御礼申し上げます。

## 本書の使い方

### 本書の目的

「論理的思考力」とは、物事を整理・分析し、筋道を立てて考える力のことです。この力をもとに自分の意見や主張を相手に伝えることは、社会の中でとても大切なスキルです。

本書では、「発想力」、「読解力」、「表現力」三つの要素の学習を通じて、日本語学習者が学校や会社で必要な、論理的思考力を身につけることを目指します。



#### 発想力

自分の意見や主張を表現するためには、まず、語彙や表現を豊富にし、さらにそれを有機的につなげることが必要です。発想力とは、テーマに沿った語彙や表現を発想し、それらを整理する力です。

#### 読解力

意見や主張を相手に伝えるためには、情報を理解するだけでなく、自分で分析したり、推論したり、理由付けをしたりすることが必要です。読解力とは、根拠のある説明のため、得た情報を自らの知識や経験と結びつける力です。

#### 表現力

表現力とは、発想力、読解力<sup>つうかい</sup>で培った力をもとに、自分の意見や主張を相手にわかりやすく、説得力を持って伝わるよう表現する力です。

## 本書の構成と内容

### 第1章 発想力

本章では、テーマに沿って思いつくことをできるだけ挙げてみる「リストアップ」や、テーマとなる単語を中心に自由に関連語句を挙げる「マッピング」を行います。

「マッピング」はいわゆるマインドマップを作成することで、自分の頭の中にある言葉を視覚的に捉えることができ、考えをまとめたり意見を述べたりするときの足がかりとなります。リストアップよりさらに有機的なつながりを意識させる高度な練習です。

### 第2章 読解力

読解というと、文章の内容を読み取ることだけに思われがちですが、文章以外のものにもメッセージがあります。本章では、さまざまな情報からメッセージを読み取り、必要なことを拾い出して構成する、文字情報をマッピングして視覚的に理解する、ある物語を「自分ならばこう解釈する・このように行動する」といった演繹えんえき的な解釈をしてみるなど、情報の理解と、その上での推論・理由付けがスムーズに行われるような練習を行います。

### 第3章 表現力

本章では、1章と2章で身につけた力をもとに、自分の意見や主張を理由付けしながら表現するトレーニングを行います。定義づけをする、順序を考える、理由だけでなく具体的な根拠を考えるなどの練習を通して、論理的な表現力を身につけることができます。

はじめに	3
本書の使い方	4

## 第1章 発想力

1 〈リストアップ〉できるだけ書いてみよう	8
2 〈マッピング〉言葉の地図を作ってみよう 1	16
3 〈マッピング〉言葉の地図を作ってみよう 2	28
4 〈マッピング〉言葉の地図を作ってみよう 3	34

## 第2章 読解力

1 イラストを見て考えよう	38
2 文章を読んで図や表にしてみよう	44
3 表・グラフの内容を読み取ってみよう	50
4 表・グラフ以外のものを読み取ってみよう	60
5 マッピングをしながら読んでみよう 1	66
6 マッピングをしながら読んでみよう 2	72
7 登場人物になったつもりで読んでみよう	78
8 どちらがいいか考えながら読んでみよう	84
9 理由を考えながら読んでみよう	92
10 意味を考えながら読んでみよう 1	98
11 意味を考えながら読んでみよう 2	102

## 第3章 表現力

1 キーワードをつなげて書いてみよう	106
2 イラストを見て書いてみよう 1	116
3 定義をしてみよう	124
4 順序を考えて書いてみよう 1	126
5 順序を考えて書いてみよう 2	136
6 理由を考えて書いてみよう 1	148
7 理由を考えて書いてみよう 2	152
8 イラストを見て書いてみよう 2	158
9 論理的に考えて書いてみよう	164

参考文献	175
------	-----



第 **1** 章

---

発想力

# 1

## <リストアップ> できるだけ書いてみよう

**例** 次の \_\_\_\_\_ に、「飲みもの」を10個書いてみましょう。

テーマにあわせて、思いつくものを10個書いてみましょう。好きなもの、嫌いなもの、見たことがあるもの、聞いたことがあるものなど、いろいろあるはずです。がんばって書いてみましょう。



コーヒー

紅茶

ウーロン茶

水

牛乳



ココア

コーラ

オレンジジュース

サイダー

ジンジャーエール

練習1

次の(1)~(6)の\_\_\_\_\_に、テーマについて思いつくものをそれぞれ10個書いてみましょう。

(1) 食べもの

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

(2) 家族

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

(3) 電気製品


(4) 体の場所




(5) “い”で終わる言葉

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

(6) “る”で終わる動詞

_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

例

次の絵を見てください。何に見えますか。\_\_\_\_\_に書いてみましょう。



星に見えます。

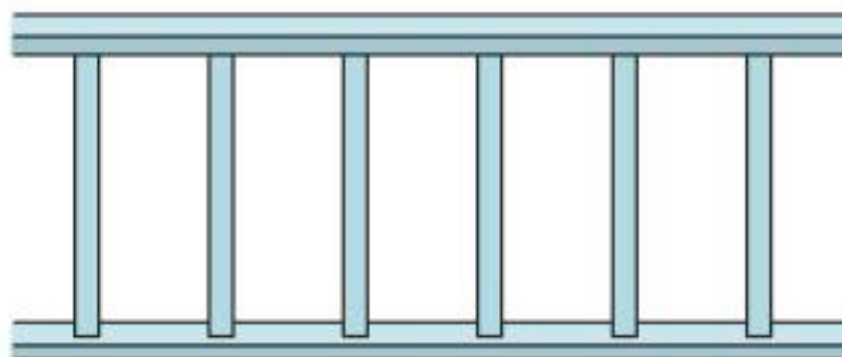
花に見えます。

ヒトデに見えます。

練習2

(1)~(3)の絵を見て、\_\_\_\_\_に書いてみましょう。

(1) 何に見えますか。



---

---

---

(2) 何をしていると思いますか。



\_\_\_\_\_ います。

\_\_\_\_\_ います。

\_\_\_\_\_ います。

(3) 何をしていると思いますか。



\_\_\_\_\_ います。

\_\_\_\_\_ います。

\_\_\_\_\_ います。

## 2

### <マッピング>

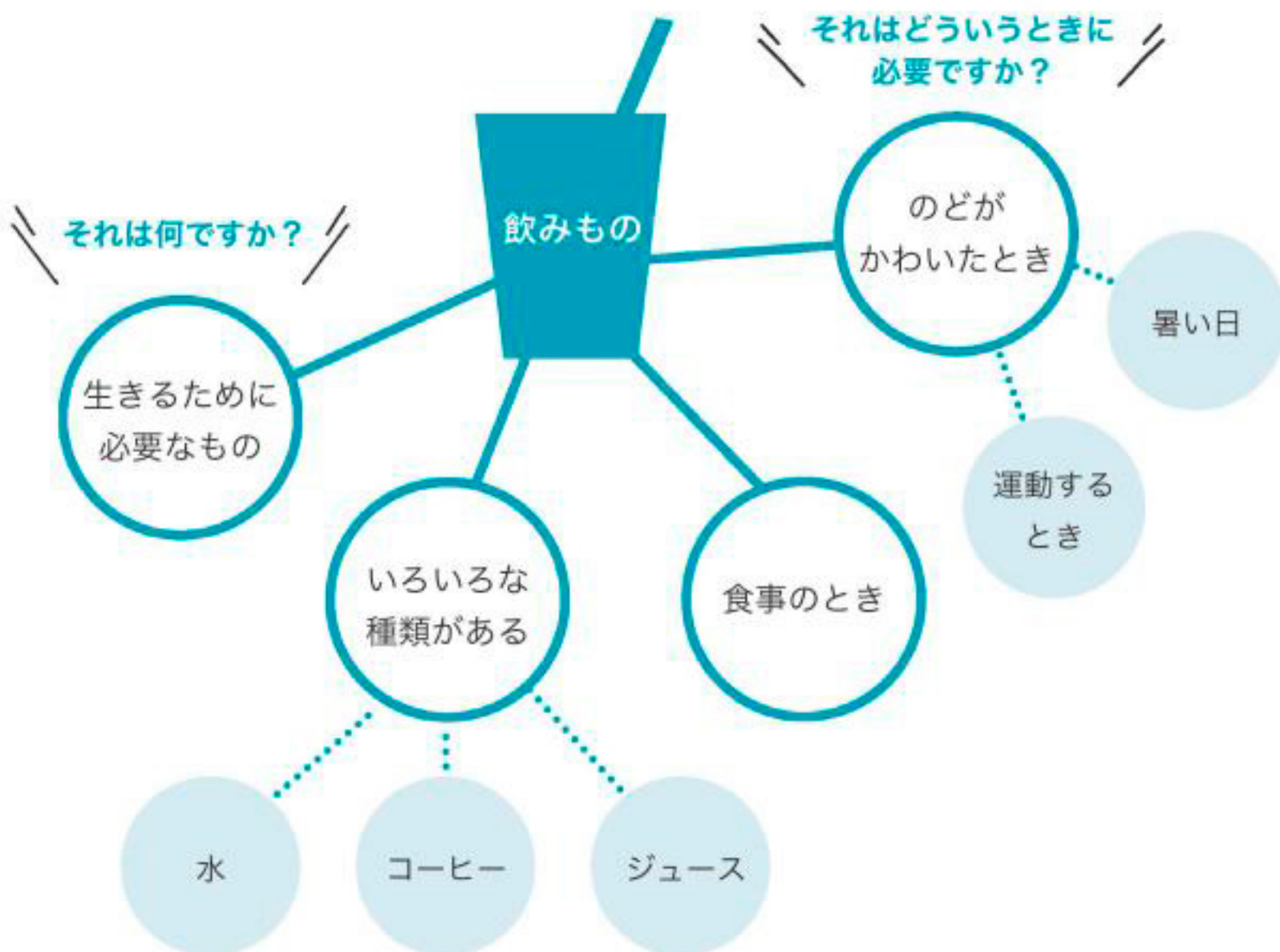
## 言葉の地図を作ってみよう1

**例** 「飲みもの」の地図を作ってみましょう。

関係のある言葉を、自由に書いてください。

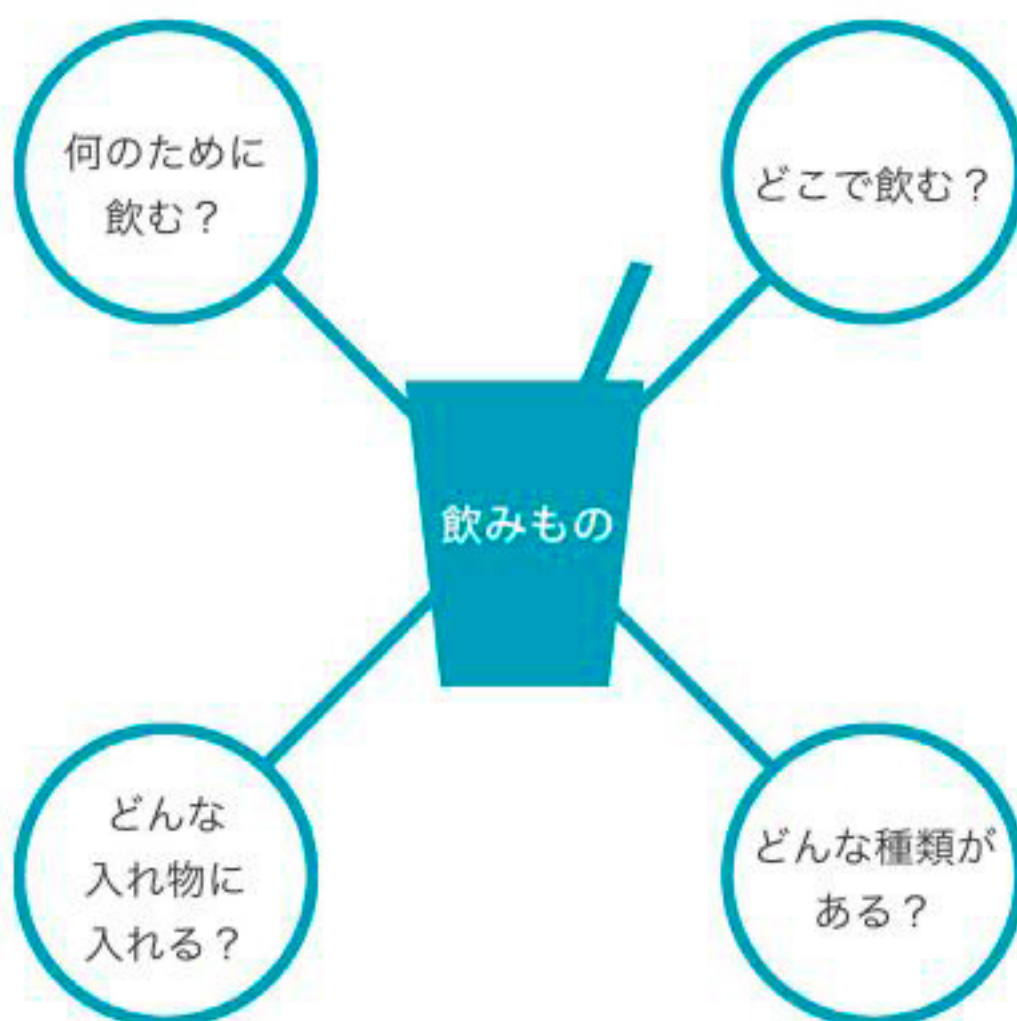
例えば「飲みもの」の場合を考えてみましょう。まず、飲みものとは、どういうときに必要であるかを考えてみましょう。「のどがかわいたとき」だと思ったら、○を書いて、その中に「のどがかわいたとき」と書きましょう。また、「のどがかわくのは暑い日だ」と思ったら、新しい○を書いて、その中に「暑い日」と書きましょう。

これをくりかえしてください。どんな「言葉の地図」ができますか。



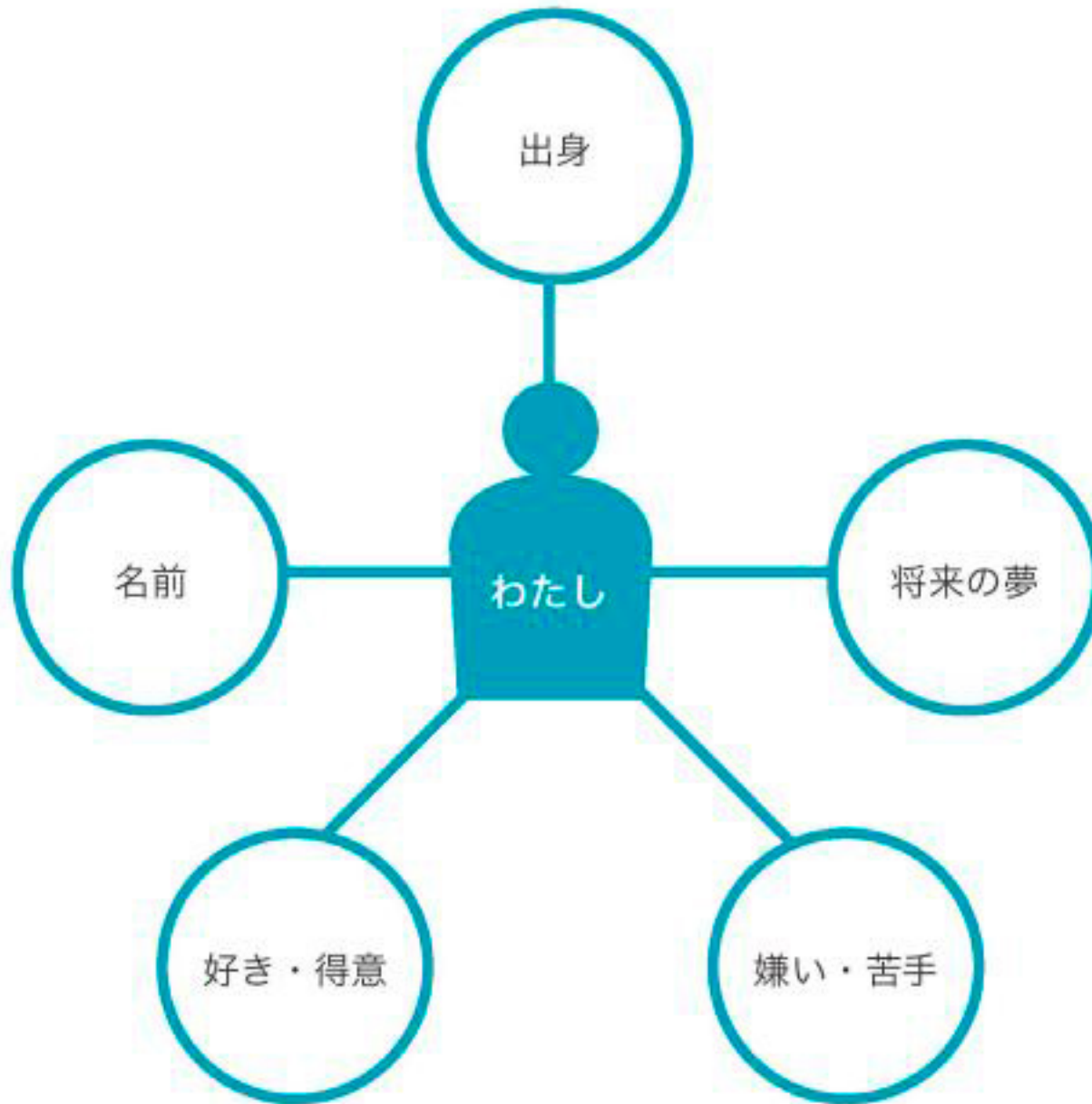
練習1

「飲みもの」の地図を作ってみましょう。



練習2

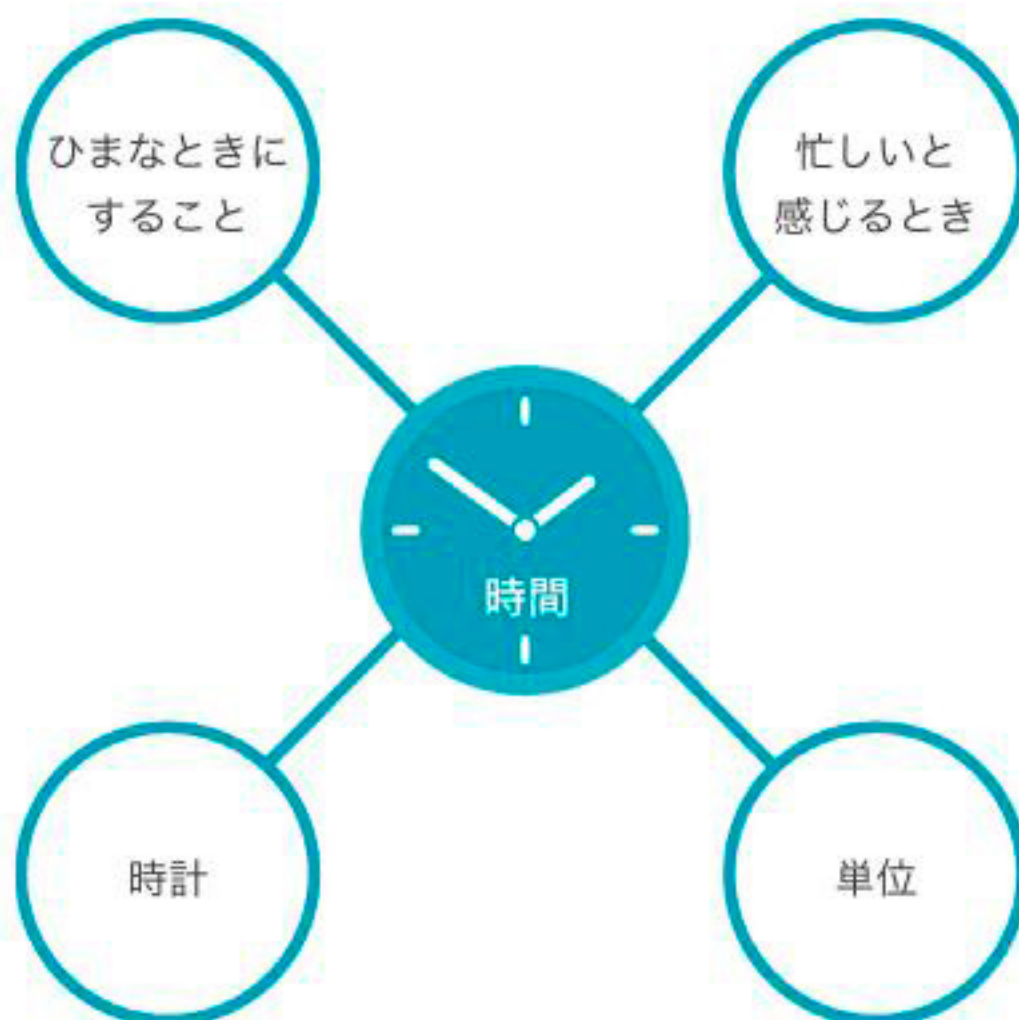
「わたし」の地図を作ってみましょう。





練習3

「時間」の地図を作ってみましょう。



**例**

次の文章を読んで、質問に答えてみましょう。

Aさんは、昨日、本屋さんで日本語能力試験の参考書を買いました。読んでみたらとてもいい本だと思いました。そこで、友だちのBさんにこの参考書を買うように言おうと思っています。

あなたがAさんなら、Bさんにどのように言いますか。AさんもBさんも日本語能力試験に興味があって、いつか受けようと思っていると考えてください。

昨日、日本語能力試験の参考書を買ったのですが、読解・聴解の分野ごとに傾向と対策がくわしく書いてあって、練習問題もたくさんありました。だからBさんも買ってみてください。きっと役に立つと思いますよ。

**練習5**

次の文章を読んで、質問に答えてみましょう。

(1)

Aさんは、アイスクリームが好きです。ある店でアイスクリームを食べました。食べてみたらとてもおいしいと思いました。そこで、友だちのBさんと一緒にアイスクリームを食べようと思っています。

あなたがAさんなら、どのように言いますか。Bさんはあまりアイスクリームを食べない人だと考えてください。

---

---

---

---

(2)

A先生の授業は、とても眠いです。今日の授業も眠いです。ほかの人も寝ているので、安心して寝てしまいました。そのとき、A先生が「どうしてあなたはいつも寝てばかりいるんですか！」と言って怒りました。

あなたなら、先生にどのように言いますか。

---

---

---

---

(3)

あなたは飲食店でアルバイトをしています。アルバイトを始めて1カ月がたちましたが、なかなか仕事が覚えられません。ある日、店長に、「どうしてきみは仕事が覚えられないんだ！ マニュアルを渡したはずだよ」と怒られてしまいました。

あなたなら、店長にどのように言いますか。マニュアルは日本語で書かれていると考えてください。

---

---

---

---

(4)

友だちのAさんと食事をしに行きました。Aさんは食事中、あなたと会話をしながら、スマートフォンを見たり、メッセージを送ったりしています。あなたはあまり気分がよくないので、Aさんにスマートフォンを見たりメッセージを送ったりしないように言おうと思っています。

あなたなら、Aさんにどのように言いますか。

---

---

---

---

(5)

Aさんはたばこを吸いません。Aさんの友だちのBさんは、たばこを吸っています。ある日、Bさんが「健康のためにたばこをやめようと思う」と言ったので、Aさんは「じゃあ、今日からたばこを吸うのをやめよう」と言ってBさんと約束をしました。しかし、1週間後にBさんに会うと、やめたはずのたばこをまた吸っています。

あなたがAさんなら、Bさんにどのように言いますか。

---

---

---

---